

今週3回分は「名詞の性別」について説明する。今回は対格。

対格とは英語でいう目的格に相当する格変化のこと。日本語では、「～を」に相当する。基本的に格変化は語尾を変えるだけでよいので、あまり考えるほどのものでもない。

まずは男性名詞。男性名詞単数形の対格は基本的に主格と同じ形であるが、**o**で終わるものは**o**を**a**に変える。また、複数形については語尾が子音字なら語尾に**iv**をつけ、**o**なら**iv**に変える。例外は必要になり次第適宜紹介する。

例文(太字部分が対格である。)

- Я їм **хліб**. (私はパンを食べる。)
- Ти любиш твого **тата**? (君はパパが好き?)

次は中性名詞。中性名詞の対格は、単数、複数ともに例外なく主格と同じ形である。

例文(太字部分が対格である。)

- Я не їм **яблука**. (私はリンゴ(複数)を食べない。)
- Кіт п'є **молоко**. (猫は牛乳を飲む。)

最後は女性名詞。女性名詞の対格は以下の変化をする。

- ・ 単数形するとき … 主格の語尾が **а** なら **у**、**я** なら **ю** に変える。
- ・ 複数形するとき … 主格の語尾が **и** ならそのままか **и** を取り、**і** ならそのままか **і** を取るか **ь** に変え、**ї** ならそのままか **й** に変える。

例文(太字部分が対格である。)

- ・ **Я хочу їсти піцу.** (私はピザを食べたい。)
- ・ **Я ношу цю спідницю.** (私はそのスカートを身に着けている。)

※スカート: спідниця

これらをまとめると、対格の語尾は下表のようになる。(太字は複数形, **ята** は不変、 \emptyset は子音字終わりを指す。)

語尾	男性	中性	女性
а	/	а	у
е	/	е	/
и	и/ів	/	и/∅
і	і/ів	/	і/ь/∅
ї	ї/їв	/	ї/й

語尾	男性	中性	女性
й	й/я	/	/
о	а	о	/
ь	ь	/	ь/я
я	/	я	ю
∅	∅	/	/

□練習問題

ウクライナ語を和訳せよ。

- (1) Я хочу грати у бейсбол.
- (2) Хто п'є молоко?
- (3) Я люблю носити спідниці.
- (4) Це не мій старший брат.

◇単語集

単語	意味
апельсин	オレンジ(果物)
брат	兄、弟
давати	与える
додаток	アプリケーション
забути	忘れる
історія	歴史
квітень	卯月(英: april)
купити	買う
пам'ятати	覚えておく
сестра	姉、妹
старий	古い
тисяча	1000
хобі	趣味
ще	もっと

■応用問題

和文をウクライナ語にせよ。

- (5) これは私のアプリケーションではない。
- (6) 君はパンが好き？
- (7) 彼女は魚を食べる？
- (8) 今は卯月だ。